

## 地域農業の維持を目指した「人・農地プラン」の実践

対象者 甲賀市土山町黒川川西地域

### 【普及活動のねらい】

平成 24 年より、地域農業の在り方を明確化するため「人・農地プラン」の検討が進められ、現在、甲賀地域の 147 農業集落において 78 地域（うち 2 地域は茶）で「人・農地プラン」が策定され、担い手等を中心とした地域農業の将来の青写真が描かれています。

このうち、甲賀市土山町黒川川西地区では、令和 3 年度よりプランの検討を進められ、地域内で営農に意欲を示した新たな担い手を中心に水田を集約する「人・農地プラン」を策定され、令和 5 年からプランの実現に向けて歩み始められました。当センターでは、このような取組が地域農業の維持に向けた活動モデルとなると考え、取組当初から支援を行ってきました。

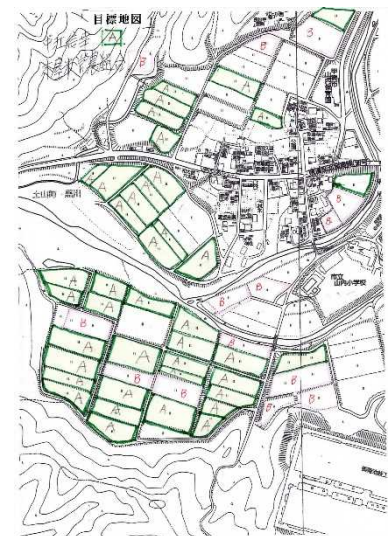
### 【普及活動の内容】

#### 「人・農地プラン」策定および実践支援(令和 3～5年)

川西中山間地域の会が実施した意向把握アンケートについて、アンケートの作成や農地集約化への整理、目標地図の作成、「人・農地プラン」への取りまとめ等について支援を行いました。また、「地域計画」作成に併せた内容の充実化について助言を行いました。

#### 担い手に対する営農支援

新たな担い手に対し、円滑な営農活動が行えるよう、水稻栽培を中心とした技術指導を行いました。



作成された目標地図

### 【普及活動の成果】

プラン実践の初年度である令和 5 年度は、当初の計画よりも新たな担い手への農地集積が進み、6.4ha の水稻を作付けされました。雑草管理等で課題は残ったものの、地域の代表からは「従前の管理状況もあり、初年度から栽培し難いなかで頑張ってもらえた。今後に期待している」との評価でした。

「人・農地プラン」は「地域計画」として法定化され、改めて農業・農地の将来設計として策定することとなりました。これを契機に、他の地域でも改めて地域農業の維持・発展に向けた取組を検討されることと思います。今後も、このような地域農業の在り方を考える取組について支援していきます。

#### ◎対象者の意見

新たな担い手を中心とした地域営農の方向性が見いだせてよかった。今後も担い手の営農活動が円滑に行えるよう、支援をお願いします。(川西中山間地域の会 代表 B 氏)